

対 策 一 覧 表

学校名	連番	路線名	箇所名・地番等	通学路の状況・危険の内容	学校による対策	経過
滝根小学校	1	市道梵天川4号線	神俣字梵天川地内 (滝根郵便局から踏切の途中にある交差点)	点滅信号はあるが、道幅が狭く、見通しも悪いため、自動車同士による衝突事故が過去に多発している。	「横断注意」の看板設置による注意喚起 定期的な教職員による交通指導	
	2	市道町7号線	神俣字町地内 (旧滝根小学校入口付近～木ノ下方面に抜ける道路の交差点)	交差点の見通しが悪い。踏切もあり、大型車が多く通行する。	児童への注意喚起	
	3	市道大橋中広土線	神俣字中広土地内 (旧滝根町給食センター前道路)	道幅が狭く、三叉路であるため見通しが悪い。歩道がない。	児童への注意喚起	
	4	市道中広土梵天川線	神俣字中広土地内 (滝根運動場付近交差点)	交差点の見通しが悪く、交通量が多い。	児童への注意喚起 横断歩道のカラー化	
	5	市道大橋中広土線	神俣字中広土地内 (滝根中学校校門前道路)	道幅が狭く、歩道がない。抜け道として利用する車の通行量も多い。	児童への注意喚起 定期的な教職員による交通指導	
	6	主要地方道 小野富岡線	神俣字梵天川地内 (駅前商店街道路)	歩道がとても狭い	児童への注意喚起	
	7	主要地方道 船引大越小野線	菅谷字石神地内 (菅谷：石神バス停の歩道)	路側帯が狭い。	児童への注意喚起	
	8	主要地方道 船引大越小野線	菅谷字沖田地内 (富士工業前バス乗降所)	スクールバス停への横断歩道がない。	児童への注意喚起	
大越小学校	9	市道下内白石線	上大越字水神宮地内 (磐越東線第4小野新町踏切付近)	踏切に変則的な交差点が重なっている。交通量も多い。大越小学校児童、大越中学校生徒の通学路となっている。	児童生徒への注意喚起 地域ボランティアの協力	
	10	主要地方道 船引大越小野線	上大越字町地内 (大越郵便局斜向かい十字路交差点)	見通しの悪い交差点であり、信号機がない。交通量も多い。大越小学校児童、大越中学校生徒の通学路となっている。	児童生徒への注意喚起 地域ボランティアの協力	
	11	市道古内栗出線	栗出字柳下地内 (大越町「栗出」－「上大越」間路線)	路肩の側溝(片側)に蓋がなく、自転車での走行の際、危険である。大越中学校生徒の通学路になっている。	生徒への注意喚起	
	12	市道曲田線	上大越字薬師堂～上大越字下内に抜ける道路	大型車両の交通量が多いが、歩道と車道の区別がない。		
都路小学校	13	国399号線 市道古道線	古道字新町地内 (遠藤床屋前三叉路)	横断歩道はあるが、三叉路になっており、見通しが悪い。	児童に対して、左右確認等について指導 交通指導員の協力	
	14	県道 あぶくま洞都路線	古道字寺ノ前地内 (保健センター前)	通学する人数は少ないが、道路幅が狭い。	児童に対して、左右確認等について指導	
	15	国道288号線	岩井沢字平蔵内地内 (岩井沢どーも前待避所)	スクールバスの停留場になっており、登校下校時に利用する。朝、交通量が多い。	児童に対して、左右確認等について指導 交通指導員の協力	
常葉小学校	16	県道常葉野川線	常葉字内町～常葉字館地内 (フラワーショップみなと～常葉児童生活センター)の区間	道路が狭い上に急カーブで見通しが悪い。歩道が無いが、通学路になっている児童や放課後、児童生活センターを利用する児童はよく通る道路である。	児童生活センターを利用する児童は交通量が比較的少ない別の道路を通るように変更	
	17	国道288号線 市道上野1号線	常葉字中町地内 (中学校入口と国道288号に接続するT字路)	過去にも交通事故が発生している危険箇所である。	教職員や交通指導専門員、PTA役員による児童へ注意喚起	
	18	県道柳渡戸常葉線	小檜山字藪下地内 (小檜山集会所バス停)	統合後にスクールバスの停留所ができた場所だが、バス停の目印が無い。道路が下り坂のカーブのため、自動車の運転手からは見えにくい。また、道路を横断する児童がいるが、横断歩道がなく、カーブのため、児童からも見えにくい	教員の下校指導を行ったり、保護者の協力	
	19	県道柳渡戸常葉線	小檜山字行屋前地内 (白岩製材所前バス停)	統合後にスクールバスの停留所ができた場所だが、バス停の目印が無い。道路が下り坂で直線なので、自動車のスピードが出やすい。道路を横断する児童がいるが、横断歩道がない。	教員の下校指導を行ったり、保護者の協力	
	20	県道柳渡戸常葉線	堀田字黒川地内 (黒川バス停十字路付近)	道路の幅が狭く、建物の陰に隠れて運転手からは児童が見えづらい。	教員の下校指導を行ったり、保護者の協力	

対 策 一 覧 表

学校名	連番	路線名	箇所名・地番等	通学路の状況・危険の内容	学校による対策	経過
	21	市道板橋線	西向字藤株地内 (バス乗降所：お地藏様付近)	道路のバイパス道路工事に伴い、児童のスクールバス停付近で工事車両の出入りがある。	教員の下校指導を行ったり、保護者の協力	
	22	市道高森線	西向字堂ヶ入地内	道幅が狭く、歩道と車道の区別がない。	教員の下校指導を行ったり、保護者の協力	道路拡幅実施中 【建設課】
芦沢小学校	23	主要地方道 郡山大越線	芦沢字菅又地内	見通しの悪いカーブにある交差点。信号や横断歩道がなく、車もスピードが出やすい場所であるため、登校で横断する際には十分注意が必要である。	看板の設置 職員・保護者による街頭指導	
	24	主要地方道 郡山大越線	芦沢字宮田地内	見通しの悪い丁字路。信号がなく、交通量も多い。車もスピードが出やすい場所であり、横断歩道で停止しない車も見られる。	看板の設置 職員・保護者による街頭指導	
	25	市道 大倉曲山４号線	芦沢字上屋形地内	道路の幅が狭く、歩道の白線もない。坂になっており、坂の向こうから来る車が見えにくい。また車から児童の様子も見えにくい場所である。	職員・保護者による街頭指導	
	26	市道 大倉曲山４号線	芦沢字上屋形地内	用水池。周囲に柵は張られているが、一部壊れている場所も見られる。	看板の設置	
	27	市道 大倉曲山４号線	芦沢字上屋形地内	坂の途中の丁字路。道路の幅が狭く、歩道の白線もない。カーブミラーが設置されているが、汚れていてあまり見えない。	看板の設置	
	28	主要地方道 郡山大越線	芦沢字朴橋地内	交通量の多い道路。道幅が狭く大きなトラックなども通ることがある。現在工事中。	看板の設置	
船引南小学校	29	主要地方道郡山大越線と農道遠山沢線の交差点	遠山沢字日向地内	見通しの悪いカーブにある交差点。信号もなく、車もスピードを出す場所であり、登下校で横断する場合には、注意が必要である。	職員・保護者による街頭指導	
	30	主要地方道 郡山大越線	堀越字丸森地内	歩道が大変狭く、児童が登下校の時に歩きにくく、危ない。通勤の車も、児童のすぐわきをスピードを出して通り抜けていくため、注意が必要である。	職員・保護者による街頭指導	
	31	主要地方道 郡山大越線	堀越字明神前地内	県道門沢三春線方面から来た児童が、主要地方道郡山大越を横切らなければならないため、右折車、左折車と交差するため、注意が必要である。	職員・保護者による街頭指導	
	32	法定外道路	堀越字夏崎地内	主要地方道郡山大越号線（磐城街道）と並行して走る法定外道路で、道幅も広くまっすぐなため、スピードを出しやすい。郡山への通勤車の抜け道となっているので、注意が必要である。	職員・保護者による街頭指導	
船引小学校	33	市道五升車花木内線	船引字馬場～花木内間 (ヤクルト船引センター～下里工芸方面)	駅方面から下里方面（国道288号線）の近道として通る車両が大変多く、車のスピードも出ており、危険である。特にY字路付近で減速する車両が少なく、非常に危険である。信号機の設置が必要である。	児童への注意喚起 【教委】	H25済
	34	市道川代鳥足線	船引字川代地内 (川代橋)	路側帯と格子の間は大変狭く、歩行していると車両との接触、巻き込みの危険が非常に高い。	児童への注意喚起 【教委】	H25済
	35	市役所～中央通 わかくさ幼稚園前の道路	わかくさ幼稚園前	朝は時間規制がなされているが、それ以外の時間帯では、送迎の車で交通量が多い。歩道と車道の区別がないため、走行中の車と接触する危険が高い。	児童への注意喚起 【教委】	
	36	国道２８８号線	船引幹部交番付近の歩道	歩道幅が狭く、一部ガードレールがない部分があるため、車と接触する危険がある。	児童への注意喚起 【教委】	
	37	主要地方道 船引大越小野線	船引クリニック前 横断歩道	坂から下るため、スピードを出す車両が多く、横断歩道が設置されていても、減速しない車が多い。横断中に走行中の車に接触する危険がある。	児童への注意喚起 【教委】	

対 策 一 覧 表

学校名	連番	路線名	箇所名・地番等	通学路の状況・危険の内容	学校による対策	経過
美山小学校	38	県道 本宮常葉線	北鹿又字石崎地内 (富士の湯前交差点)	停止線や横断歩道が消えかかっている。そのため、十分に停止をしない車が多く、大変危険である。見通しがあまり良くない上に、朝夕は交通量も多いことから、事故が心配される。	朝は、校長や地区見守り隊の方が現場に立ち、安全を守っている 通学班会議や班長会議を定期的に行い、安全な歩き方を指導している	
	39	県道 本宮常葉線	北鹿又字石崎地内 (富士の湯前交差点～常葉方面に向かって約2 k m)	朝夕は交通量が多く、スピードを出す車も多いが、歩道がないため、大変危険である。ごく一部に歩道があったり、白線と破線で路側帯を示してあったりする。特に、幅の狭い橋や、見通しの悪い曲がりくねった道（富士の湯前交差点より約6 0 0 m～1 4 0 0 m地点）は危険である。	通学班会議や班長会議を定期的に行い、安全な歩き方を指導している	
	40	市道大山柏塚線	北鹿又字中旦ノ平地内 (美山小学校北西部交差点)	旦ノ平方面の児童が市道を横断して登下校しているが、横断歩道がない上に、見通しが悪く、危険である。	通学班会議や班長会議を定期的に行い、安全な歩き方を指導している 登校時、定期的に教職員が立ち、安全確保と児童への指導を行っている	
緑小学校	41	主要地方道 浪江三春線	愛宕神社（上移1 7 9 番地）下付近	途中から歩道がなくなり、児童が歩くところがとても狭くなる。		
	42	主要地方道 浪江三春線	北移・南移コミュニティプラザ入口、反対側歩道 (北移1 0 5 番地) 付近	途中から歩道がなくなり、とても狭くなるので、民家の裏を通っている。		
瀬川小学校	43	主要地方道 浪江三春線	新館字軽井沢地内 学校校門前	校門前にもかかわらず横断歩道がない。しかし毎日、児童が登下校の際に横断している。交通量が多く、現在道路拡張工事のため、仮設の信号機が設置してある。特に大型車両の間を横断するときには、死角になり、大人でも大変危険である。かなりの注意を要する。	登下校の際に、職員等がついて、安全に横断させている。	歩道の整備の検討 【県中建設】
	44	国道3 4 9 号 主要地方道 浪江三春線	新館軽井沢地内 学校前 国道349号線 県道50号線の拡張工事	昨年度より、国道349号線および県道50号線の拡張工事に伴い、仮設の信号機が設置され、交通量が多いこと、さらには停車中の車の間から道路を横断する状態が続いている。大変危険である。工事中の為、以前から児童は迂回して通学している。	登下校の際に、職員や保護者、見守り隊員等が付き添い、安全に横断させている。	
	45	国道3 4 9 号線	大倉地内 瀬川橋から瀬川郵便局付近	道路に歩道がなく、登下校の際に大変危険である。交通量も大変多い。	登下校の際に、保護者が必ず付き添い安全に歩行できるようにしている。	
	46	主要地方道 浪江三春線	石沢地内 福島交通 山口バス停から石沢バス停付近	道路に歩道がなく、登下校の際に大変危険である。特に下校の際は、道路左側を歩行するようになる。交通量も大変多い。	登下校の際に、保護者の付き添いを依頼し、安全に歩行できるようにしている。	
要田小学校	47	県道 実沢要田線	磐越東線川俣街道踏切北側	踏み切りは幅が狭く自家用車2台がすれ違えないので、大変危険である。	回りの状況をよく見て車が来ないときに踏み切りを渡るようにする。	踏切拡幅・道路拡幅・歩道設置の検討 【県中建設】
	48	県道 実沢要田線	要田線から旧要田中学校へ曲がる交差点	車の交通量が多い場所であるが、横断歩道の白線が消えかかっている。道路のセンターラインや白線も消えている。		
	49	主要地方道 浪江三春線 県道実沢要田線	学校周辺 要田駐在所 郵便局前	道幅が狭く、曲がりくねっている。道路の白線も消えている。	一列で歩道を歩く。歩行者用の信号機をよく見て渡る。	
	50	主要地方道 浪江三春線	要田駅付近	道幅が狭く、見通しが悪い。要田駅前県道横断のための横断歩道がない。カーブになっているため、歩行者スレスレの所を車が通っている状態。	駅前では道路を横切らないようにする。J A 資材センターの信号機のところで渡る。	
	51	主要地方道 浪江三春線	熊耳	昨年度の台風1 9 号の際、南側の斜面の土砂が崩れた。現在土留めがされているが、北側の斜面は何の対策もされておらず、大雨等の際に危険である。		
	52	南成田(市外)	成田公民館前交差点	横断歩道もなく、道路の白線も消えている。		
	53	北成田(市外)	新池	白線が消え、見通しも悪い。		
	54	北成田(市外)	北保育所付近十字路	道幅が狭く、見通しが悪い。		